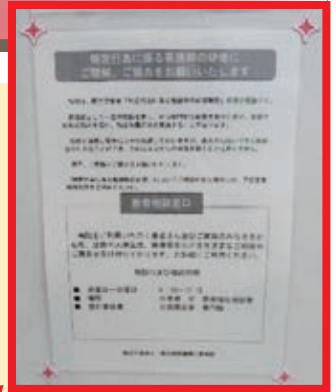




2022年度

# 特定行為研修へ参加して

日本看護協会において、2015年8月に厚生労働省から特定行為研修指定研修機関の指定を受け、10月に制度が施行されると同時に全分野の認定看護師（21分野）を対象とした特定行為研修が開始されました。この研修に期待されることは、医療機関や介護施設に留まらず在宅や、へき地とされる場など多種多様な現場で医療・看護・介護の提供において活躍できる看護師の育成にあり、チーム医療の構築と強化・常勤医師が少ない地での活躍にあります。私は、抗菌薬適正使用に関する取り組みが急務の院内感染対策にチームで取り組む中、自身の知識や経験が未熟であると感じ、日本看護協会神戸研修センターで開校された研修へ参加させて頂いております。7月よりe-ラーニン



相談室前に、特定行為研修における院内実習についてご理解とご協力をお願いを掲示させて頂いております。



大阪大学医学部附属病院感染症専門医 忽那賢志先生と研修生（感染管理分野7名、がん化学療法看護分野2名）の皆さんと

グ研修、1月には集合研修にも参加させていただきました。7分野26名（「救急看護、集中ケア、緩和ケア、がん化学療法看護、認知症看護、訪問看護、感染管理」）の方々と、「感染に関する薬剤投与に関連」と「栄養及び水分管理に係る薬剤投与に関連」の特定行為について学習させて頂いております。3月には当院で、医師に指導を頂きながら実習に取り組みさせて頂く予定です。まだ研修は継続中ですが、修了のご報告と院内対策に還元できるよう頑張りたいと思います。引き続きご理解ご協力のほど、何卒よろしく申し上げます。

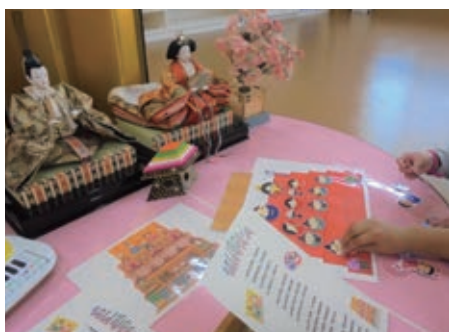
（感染管理副看護師長 鈴 美里）

2病棟

## の子どもたちの生活のひとコマ

3月3日の桃の節句を控え、日本の伝統的な行事のひとつである「雛祭り」を2病棟の子どもたちと愛でて楽しむイベントを行いました。

「♪あかりをつけましょ ぼんぼりに～」でお馴染みの♪うれしいひなまつりの歌を唄いながら、手作りの雛人形のパネルシアターのパーツを動かしては、見事に雛壇が完成すると「おおー、やったーできた！」と子どもたちからは



大きな歓声が聞かれました。そして、本物の金屏風を背景にお内裏様とお雛様、そして病気や災いを寄せ付けぬ木と言われる桃の木などをコンパクトに棚の上に飾り付けました。子どもたちがこれから生きていく中で出会う人や物事と良い縁を結び、人生の幸福を得られますように思いを込めて飾り付けた後は、女の子と男の子、病棟スタッフもが交じって一緒に記念写真を撮り、みんなで「雛祭り」をお祝いしました。雛人形を見ると、春の訪れを感じますね。



大きな歓声が聞かれました。

そして、本物の金屏風を背景にお内裏様とお雛様、そして病気や災いを寄せ付けぬ木と言われる桃の木などをコンパクトに棚の上に飾り付けました。

子どもたちがこれから生きていく中で出会う人や物事と良い縁を結び、人生の幸福を得られますように思いを込めて飾り付けた後は、女の子と男の子、病棟スタッフもが交じって一緒に記念写真を撮り、みんなで「雛祭り」をお祝いしました。雛人形を見ると、春の訪れを感じますね。

（保育士 伊藤 真衣）

